

# 進路だより

長崎県立ろう学校  
佐世保分校  
2018年 10月 1日

## 【進路講話会】

9月6日(木)、大阪にあるシャープ特選工業株式会社から高橋裕樹さんをお迎えし、「メーカーでの仕事～障がいがありながら働くこと～」というテーマで、出前授業をしていただきました。高橋さんは、北海道の御出身で、小学2年生まで北海道札幌聾学校に通われていたそうです。「メーカーの仕事」「学生と社会人の違い」「社会に出て働くこと」などについて、作業体験や講義を通して、多くのことを教えていただきました。



講義「メーカーでの仕事」など



作業体験(袋のラベル貼り)



メーカーの仕事では、知恵、工夫、努力 何よりもチームワークが大切です。

どうすれば間違いなく、きれいに、速く作れるのかを話し合いました。

見本と同じものを5分間で10袋作るという課題でしたが、合格した袋は5袋だけでした。

## 高橋さんからのアドバイス

仕事では、人とのコミュニケーションが大切です。しかし、一方的に自分の意見を言ったり、人の意見を聞かなかったりすることは、コミュニケーションではありません。

①自分の意見や考えを伝えること ②相手の言うことを聞き、正しく理解すること ③相手の意見に対して、自分の意見を伝えること などのやり取りが大切です。是非、学校でも、意識して「コミュニケーションの力」を身に付けていってください。

～会社で働くために必要な力～ ※日常生活を送る上で、基本的なこと

- ①挨拶・返事をする事ができる
- ②規則正しい生活ができる
- ③みんなと協力できる
- ④礼儀正しい言葉遣いができる

学生の間に身に付けた力は、社会人になったときに役立ちます。